

ヘンデルとグレーテルはこのようにして家に帰った

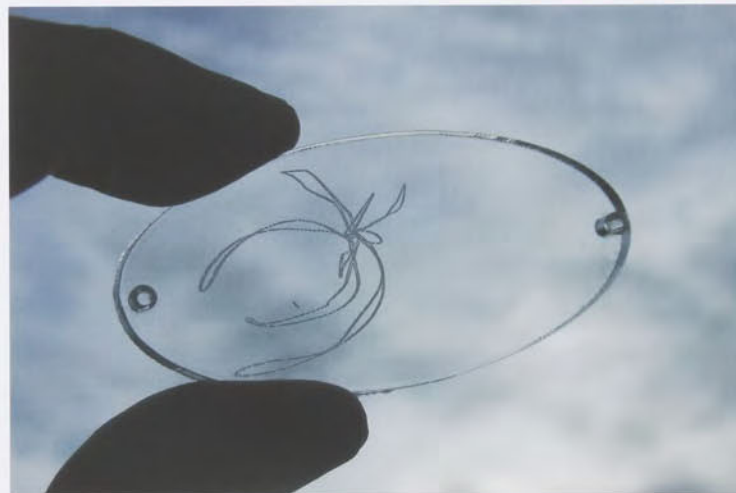


ヘンデルとグレーテルは小石を蒔いて、帰りの道を知りました。パンの屑を蒔いた時には、小鳥に食べられて帰り道がわからなくなりました。これは彼らの道の軌跡であり、そしてまた、彼らの進むべき道を示すものでした。遠い遠い昔の 遠い遠い国のお話です。

この美しい軌跡を あなたに

わたしたちは自分が辿ってきた道を形に残すことができないと考えました。思い出として写真やビデオで記録することはあたりまえとなっていますがそれらは断片的な記録で、人生を連続して振り返ることはできません。そこで『導線』に注目し辿ってきた道（＝自分のあしあと）を形にあらわそうと思ったわけです。

それは思いがけず「美しい」ものでした



軌跡を美しいクリスタルのブローチにし、人生の節目に贈った・贈られたりすることによって色々なことが形として残るのでわないかと考えました。

導線によって生まれる軌跡

伊能忠敬の軌跡



伊能忠敬はその生涯をかけて日本全土を測量して歩き最初の本格的な日本地図をつくりあげました。彼の軌跡はそのまま日本地図を描いています。

「私の軌跡」



これは私の16年間の軌跡です。まだ日本からは出たことがありません。

人の人生や経験を表すには人の「導線」を使うとそれぞれ形の異なった世界に1つしかないものができるのではないかと考えました。

短いもの
複雑なもの
単純なものには
それぞれ意味があるのです。

成人式のときに今までの行動範囲を「導線」で表しブローチにして親から子に贈る

就職し、定年退職するときに会社員として世界を駆け巡ったきた軌跡をブローチにして贈る

結婚式で2人の導線がひとつのプレートになったものを贈る

新しい時代のアーカイブ

「導線」はケータイ等の GPS 機能を利用して記録します。

導線はバーコードの役割をはたします。導線を読み込むことで様々な情報が引き出せます



その情報をもとに Google マップのストリートビューで見えることもできるでしょう。Google が昔の風景や道なども保存しているようなので、自分が見てきた風景だけでなく両親が見てきた風景、祖父母が見てきた風景、ずっとずっと昔、自分の知らない風景をバーチャル空間で他人の導線で辿ることもできるでしょう。そこで初めて知る想い出の場所の姿は、あなたの中の心を動かすことでしょう。



そこで初めて知るあの人の想い出の風景、軌跡はあなたの心を動かすことでしょう

私たちが生きてきた人生は同じではありません。一人一人何かの違い、その人にしかない人生であるはず。みんな歩んできた道は必ず違います。そんな自分だけが歩んできた道にはさまざまな出会いがあり別れがあり 泣いた場所 笑った場所 いろんな想いが詰まっています。そんな自分だけの思い出の道を後世の人に伝えてみませんか。そう、これは新しい時代のアーカイブなのです



繋がる軌跡 集まる軌跡 途絶えた軌跡

1人1人の導線は短いですが
ご先祖様までさかのぼって
〇〇家の軌跡はどんな形をしているのでしょうか これは新しい時代の家系図です

突然消えてしまった軌跡
あの人とあの人が複雑に絡み合った軌跡
一斉に同じ方向へ動き出した軌跡
なにがあったのでしょうか



人類のアーカイブとして蓄積していくと「人の密度」「人の移動」といった観点から新しい研究が進むかもしれません

あなたと私は繋がっている

「無縁社会」…高齢者の孤独死、若者のひきこもり、1人暮らし世帯の増加など人と人とのつながりが希薄になっているので「無縁」ということからできたことば

自らの軌跡の交点や接点を辿ってみると、辿れば辿るほど関係する人は天文学的に増えていきます

誰もがみんなその中に入るので、お互いにどこかでつながっているかもしれずその不思議な関係こそが人の「縁」や「絆」とよばれることば

軌跡を辿るなかで自分にうり二つの人に会ったり、同じ境遇の人に会ったりする世の中に「無縁」の人などいないのかもしれない

軌跡のアーカイブ

アーカイブ (archive) とは、日本では一般的に簿冊と訳されることが多いが、元来は公記録保管所、公文書、または公文書の保管所、歴史などを意味し記録を保管しておく場所である。公文書館を参照のこと。(ウィキペディア)